

飛騨牛当選 50人決まる

銘柄推進協キャンペーン

新型コロナウイルス感染拡大の影響で外食自粛が続く中、家庭で飛騨牛を楽しむでもらおうと飛騨牛銘柄推進協議会が始めた「買って食べて、モオ〜ッと飛騨牛キャンペーン」の第1弾の抽選会が23日、岐阜市宇佐南の県農協会館であり、5等級の飛騨牛1キロ(す

き焼き用、焼き肉用各500ㄾ)の当選者50人が決まった。4月中に商品が送られる予定。

キャンペーンは3〜19日の期間に飛騨牛指定販売店、料理店で飛騨牛3千円分以上購入、食べた人を対象に実施し、1382通の応募があった。

同協議会幹事長でJA全農岐阜の西村寿文県本部長らが応募はがきの中から当選者を選んだ。西村県本部長は「外食ができない分、飛騨牛を家庭で食べてプチゼいたくをしてもらえば」と話した。

第2弾は20日〜5月10日の期間に3千円以上購入、食べた人が対象で、抽選会は5月中旬以降に行う予定。

(村井樹)



当選者を選んだ西村寿文県本部長ら＝岐阜市宇佐南県農協会館